

学校だより 高遠の子

伊那市立
高遠中学校
2022.1.21
No.15

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて

生徒の皆さん、保護者の皆様には、日頃から新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組を続けてくださっていることに感謝申し上げます。

すでにご存じのとおり、オミクロン株の広がりが急速に拡大し、上伊那郡内でも感染警戒レベル5の地域がでてまいりました。伊那市内でも新型コロナウイルス感染の陽性者がでています。

学級担任からお話があったとおり、オミクロン株は感染力が強く、感染経路が分からない人も増えており、誰が感染してもおかしくない状況です。

ここで再度のお願いです。

感染防止策をとっていても感染する可能性があるオミクロン株です。大事なことは、これまで通り、マスクや手洗い、消毒といった基本的な防止策を続けていくことが大切になります。引き続きお願いします。校内でも三密を避けるよう配慮していきます。緊急事態措置やまん延防止等重点措置の地域などへの外出については、ご検討をお願いします。

生徒の皆さんには、ご自身やご家族で体調がすぐれない人がいましたら、無理をせずに学校を休んでください。本校職員も、体調がすぐれない場合は、休みをとって、万が一に備えます。PCR 検査結果が陽性となった場合や保健所から「濃厚接触者、接触者」と連絡をもらった場合は学校を休むこととなります。また、ご家族の中で接触の可能性があり、感染が心配される

場合も同様にお休みをお願いする（この場合も欠席扱いにはしません。）ことがありますので、学校までご連絡ください。

心配されることは、これまで以上に新型コロナが身近になってきていることから、不安が増して、うわさなどで誤った情報が流れることや、友人やその家族に対しての差別や中傷が起きてしまうことです。このような悲しいことが起きないように、「正しく怖がる」という言葉があるように、新型コロナに対する警戒は必要ですが、感染された方に対する差別や中傷は誤った行動であるということを改めて確認し、自分の心と体を大切にするのと同様に、周りの人の心と体も大切にしていきましょう。

今後、本校でも生徒やご家族のPCR 検査が陽性となってお休みする生徒もいることと思います。また、感染の心配からお休みをとる生徒もいることでしょう。学級閉鎖や休校等の可能性もあります。学校からは、必要に応じて感染拡大防止のための対応のお知らせやお願いをしていきますので、慌てずに、冷静な対応をお願いします。

○1月31日に予定していました「授業参観」につきましては、お知らせしましたように取りやめとさせていただきました。1年間のまとめ、3年生にとっては中学最後の授業参観が無くなってしまふことに申し訳なく思いますが、感染防止策としての対応であることをご理解いただき、日頃の学校の様子などご家庭で話題にしていただければありがたいです。

3学期始業式「オンライン校長講話」

～ 聴く・話す ～

「あけましておめでとうございます。年末年始休業はいかがでしたでしょうか。学年のまとめの学期にあたり、学習や生活の基本として、今日は「聴く」「話す」について話をしたいと思います。

授業では、友の考えを聴き、自分の考えを話すという話し合う活動があります。この活動を通して、皆さんは自分の学びを積み重ねています。この学びには、2つの要素、「話す」と「聴く」があります。

このうち「聴く」という学びは、例えば音楽を聴くといった場合、脳の中で、話し言葉を理解していく働きと音を理解していく働きが相互に関わり合って音楽を音楽として理解していくことが分かってきました。さらに記憶していくことで、BGMを聴いて、歌詞が頭に浮かんでくるのもこの働きと言えそうです。友達の言葉は、いわゆる音として耳に届きますが、言葉として認識し、自分のこれまでの記憶や思考と瞬時に比べて学習していることとなります。音をつかさどる側頭葉と思考や意欲をつかさどる前頭葉の働きによるものです。ちなみに後頭葉では視覚、目から入る情報を処理しています。目と耳から入る情報を総合的に取り込み記憶することで、音を聞いて映像を思い出すことも可能となります。

今、皆さんは静かに私の話を聴いていますが、聴くという行為の中で、すでにイメージを膨らめたり、疑問を感じたりしているのです。じっくりと話を聴くという行為は、自分の中で、良し悪しや創造性を育てている瞬間と言えます。だから、聴くということは学んでいるということになります。よく話を聴けるということは、よく学んでいるということになります。

では、話すということはどういうことか考えてみます。図で示すとこのようになります。自分が発言している様子を思い浮かべてみてください。自分で発した言葉さえも、自分の耳でとらえ、側頭葉と前頭葉がお互いに働き合って、また次の言葉が出てくるということになります。その反応は、0.何秒という、とても短い時間の中で素早く働いています。ゆっくりと自分の中で考えながら話していることもあるし、すでに頭の中である程度、考えをまとめて話している場合もあります。いろいろと調べてみると、記憶がなぜ蓄積されるのかなど、脳の仕組みはまだまだ解明されていないことが多いことも分かりました。

話を戻しますが、相手と話す上で大切なことは、最後まで相手の話を聴くことです。その後、自分の考えを出し、考えを修正し、高めていきます。思考が回転し練り上げていき、自分の考えがまとまっていきます。最後まで話を聴くことは、相手を大切にすることでもありません。友の言葉を受け取る受容の心も育てています。謙虚な姿、美しい心や姿となって現れてきます。途中で話をさえぎらない、否定しないことがルールでありマナーです。今日は、「聴く」「話す」という話をしました。学習や生活の中で、さらに高めてほしいと願っています。

全国中学生人権作文コンテスト
「感謝状」

学校で取り組んだ人権作文コンテストについて、法務省人権擁護局・全国人権擁護委員会連合会から感謝状をいただきました。これまでもお話をしてきたとおり、高遠中学校では、いじめや差別をなくす取り組みをしてきています。人権作文を書くことを通して、自らを省みて、新たな自分を探していくことができると願っています。前回のお便りにあるとおり、私たちは常に自らを見ていくことが大切です。温かな心で周囲を照らすことができれば…と願っています。



第58回フラワーブラボーコンクール



PTA 新聞「奨励賞」



PTA 新聞が、今度は日本 PTA 全国協議会から表彰「奨励賞」をいただきました。皆さんの一つ一つの活動がこのような形で激励の言葉をいただけることに感謝です。

全校生徒で取り組んできた「花作相見」花壇づくりは、毎年コンクールに応募していますが、今年度、新型コロナのためにコンクールは中止となりました。その代わりに、実行委員会の呼びかけに応じて、皆さんの活動を報告したところ、「参加証」をいただきました。

活動の証をいただけたことに感謝です。

【1月31日の校長講話】の代わりとして…

PTA 総会など、年に1回はお家の方とお話する機会をと願って、今月末に計画しました校長講話ですが、紙面にてお話をさせていただくことといたしました。18日の新入生保護者の皆さんへの講話も取りやめさせていただきました。紙面にすると文章量が極端に少なくなりますがお許しください。大きくは、次年度の学校運営にかかわってのお話です。

1 「高遠中学校水泳学習」について

本校では、これまで学校プールにて体育の水泳指導をしてまいりました。近年、老朽化に伴う修理・修繕箇所が増え、自校プールの維持管理が困難な状況となっています。近隣の小学校も含めて市内の小中学校のほとんどが同様の状況であり、修理・修繕等の予算を確保することが困難とのことです。

そこで高遠3校について、令和4年度からの水泳学習を「高遠スポーツ公園プール」で行うこととなりました。現在、3校の使用日の割振りや行き帰りの手段など、徐々に詳細をつめていく段階です。

これまで同様というわけにはいかないことから本校では教育課程の見直しを行い、現時点の計画で、1・2年生の水泳学習時間を6時間程度、3年生については0～2時間程度を検討しています。体育全体の学習時間はこれまで通り（各学年105時間）です。体力づくりや体ならし運動、球技、保健学習などの充実を図っていきたいと考えています。伊那市からの説明の機会も31日に行う予定でしたがとりやめさせていただきました。可能であれば次年度の早期に説明のお願いをしたいと考えています。

2 部活動について

保護者の皆様には今年度も部活動についてのご理解とご協力をいただきありがとうございます。

います。

部活動については、「高遠中学校スポーツ活動運営委員会」にて協議いただいているところですが、生徒数減少と部活の数を含めた部活動の在り方をはじめ、生徒の生活バランスのこと、職員（顧問）の時間外勤務（超過勤務）のことなど、まだまだ改善を図っていかなくてはならないことがあります。土日の部活動の地域移行についても検討することの一つです。

次年度につきましては、生徒の生活バランスの確保と職員の時間外勤務縮減のことを念頭に、活動の在り方をさらに検討していく必要があると考えています。協議の場合は、スポーツ活動運営委員会が主となり、今後開催してご意見をいただく機会を持つ予定です。よい改善策があれば…と考えています。

3 新型コロナ対応と行事

新型コロナにかかわって、学校行事の見直しや変更について、引き続き検討を続けていかねばならない状況があります。

次年度、大きな行事である3年生の修学旅行、2年生の登山については、昨年・今年同様に、できる限り実現に向けて、準備をすすめているところですが、可能性を探っているために、保護者の皆様には、確定したことが言えないことが多々あります。今後、学年だよりなどでお知らせしてまいります。

4月の観桜期活動に向けては、実施の方向で準備をすすめています。生徒説明会も予定しています。コロナ下の中でどのように実践できるか、今年度、ノウハウは少なからず得たと考えています。観光大使として中学生が活躍できる日を…と願っています。

お気づきのことも多いかと思えます。学校までお知らせください。